

転倒災害+（プラス）防止キャンペーン月間の結果を公表します！

真岡労働基準監督署では、12月を「転倒災害+（プラス）防止キャンペーン月間」と定め、転倒災害に腰痛、捻挫等をプラスした行動災害防止に向けた取り組みを実施することとしていました。
月間中の目標の達成状況と回答のあったアンケートの結果を公表します。

目標 結果

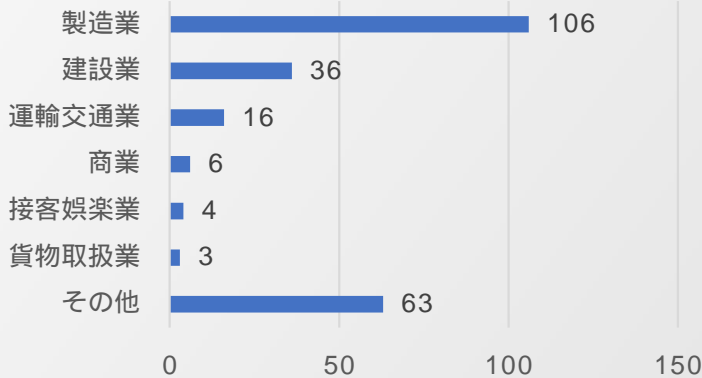
◆ 労働災害による死亡者数「ゼロ」	ゼロ	達成！ 転倒災害は「ゼロ」を達成！
◆ 行動災害による負傷者数「ゼロ」	5人	
◆ 労働災害による負傷者数「8人以下」	14人	

(令和7年1月末現在)

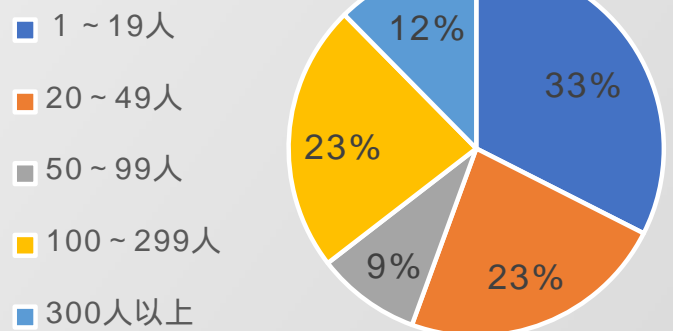
業種別の労働災害発生事例は当署HP (https://jsite.mhlw.go.jp/tochigi-roudoukyoku/news_topics/kantokusho_oshirase/moka.html) を参照

アンケート結果 1

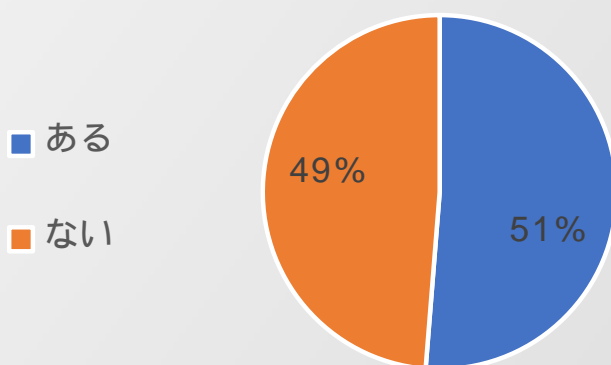
業種別回答数



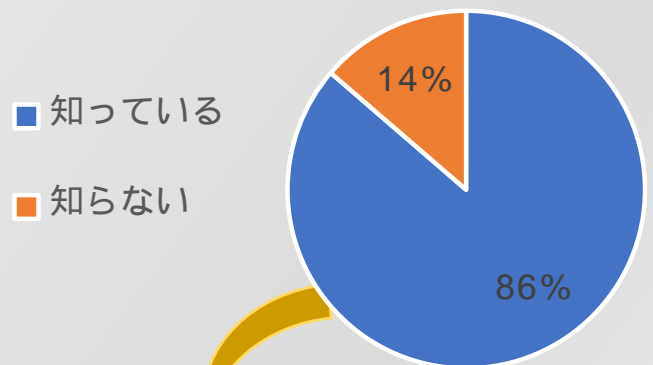
規模別回答数



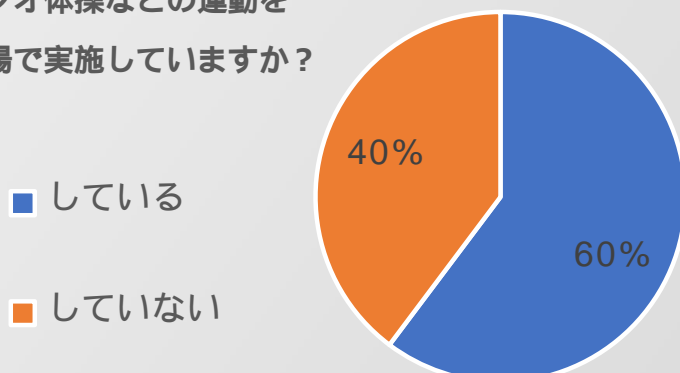
転倒災害が発生したことがありますか？



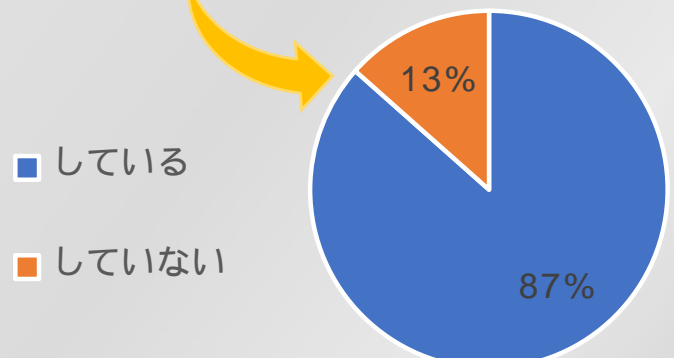
リスクアセスメントを知っていますか？



ラジオ体操などの運動を職場で実施していますか？



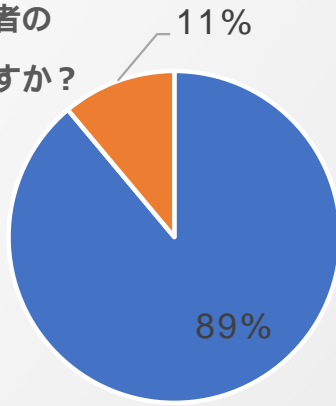
リスクアセスメントを実施していますか？



アンケート結果 2

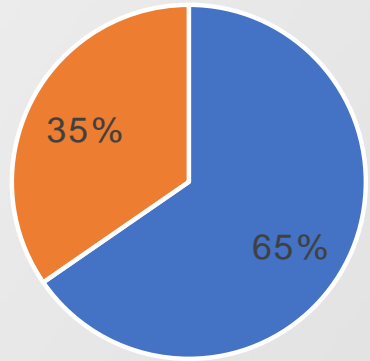
ミーティングなどの場で労働者の意見を聴く機会を設けていますか？

- 設けている
- 設けていない



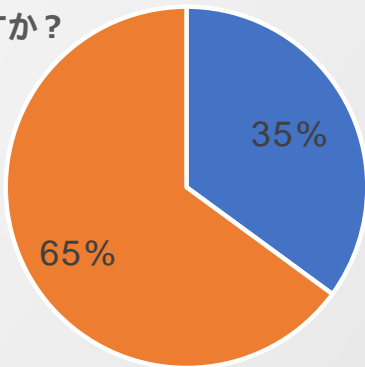
行動災害が発生したことがありますか？

- ある
- ない



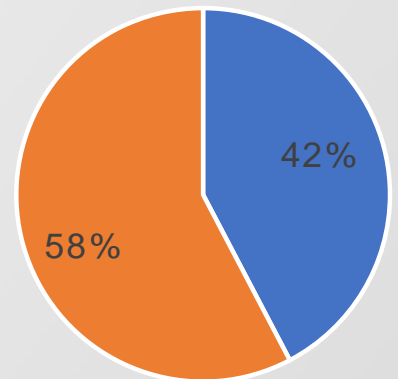
腰痛予防を考慮した作業手順を作成していますか？

- している
- していない



腰痛予防に関する安全教育を実施していますか？

- している
- していない



職場で実施している取組みはありますか？

- ✓ 口コミ度測定
- ✓ 5S活動の推進・安全通路の確保
- ✓ 持ち上げる重量の制限
- ✓ トレーニングジムの法人会員
- ✓ 段差部分や階段の色分け塗装や滑り止め加工
- ✓ 腰痛ベルト・サポーターの支給
- ✓ 作業姿勢や作業方法の見直し
- ✓ 腰痛予防体操
- ✓ 重量物等の危険体感教育

事業主の皆さまへ

職場での腰痛を予防しましょう！ 「腰痛予防対策指針」による予防のポイント

栃木労働局

こころはNiceとちぎ 転倒予防体操

転倒による怪傷や通院・入院のリスクを回避する為、「こころはNiceとちぎ 転倒予防体操」を取り入れてみてください。



転倒による怪傷や通院・入院のリスクを回避する為、「こころはNiceとちぎ 転倒予防体操」を取り入れてみてください。

毎日続けることで転倒しにくい身体作りをめざしましょう！

Nice 01 手首・足首回し

効果 手首・腕に緊張、充血を緩和、関節の可動性を高め、転倒予防

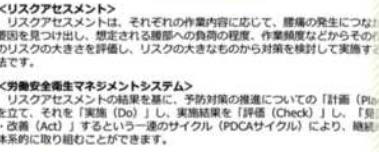
Nice 02 平衡感覚運動

効果 目や耳などの平衡感覚を鍛え、転倒しにくい身体作りを促す。転倒した際の怪傷を軽減し、転倒時のダメージを軽減する。

Nice 03 腰回し

効果 腰回しなどの動作をスムーズに動かすことができるようになる。転倒した際の怪傷を軽減し、転倒時のダメージを軽減する。

腰痛は、休業4日以上の職業性疾患の6割を占める労働災害となっています。厚生労働省では「職場における腰痛予防対策指針」を策定し、重労働を取り扱う事業場などへの啓発・指導を行ってきましたが、平成25年6月に、適用範囲を福祉・医療分野における介護・看護作業全般に広げると、改訂を行いました。このパンフレットは、指針の主なポイント、腰痛の発生が比較的多い作業についての対策をまとめたものです。皆さまの事業場での腰痛予防対策に、ぜひ、お役立てください。



＜リスクアセスメント＞
リスクアセスメントは、それぞれの作業内容に応じて、腰痛の発生につながる要因を見つけて出し、想定される腰部への負荷の程度、作業頻度などからその作業のリスクの大きさを評価し、リスクの大きなものから対策を検討して実施する方法です。

＜労働安全衛生マネジメントシステム＞
リスクアセスメントの結果を基に、予防対策の推進についての「計画（Plan）」を立て、それを「実施（Do）」し、実施結果を「評価（Check）」し、「見直し（Act）」するという一連のサイクル（PDCAサイクル）により、継続的に体系的に取り組むことができます。

厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署

真岡労働基準監督署長のコメント

アンケートにお答えいただいた多くの皆様、誠にありがとうございました。これが真岡監督署管内の転倒災害等行動災害の実態を表しているのだと思います。

また、皆様の職場で様々な取組みをしていただいていることがわかりました。

キャンペーン月間の目標は達成できませんでしたが、アンケートにお答えいただいた皆様もそうではない皆様もぜひ、この結果を参考にいただき、社内研修や安全衛生委員会、その他安全活動にお役立ていただけますと幸いです。